令和7年度

土砂災害防止に関する絵画・作文
～入賞作品集～

事務局：山形県 県土整備部 砂防・災害対策課
（敬称略）

絵画部門

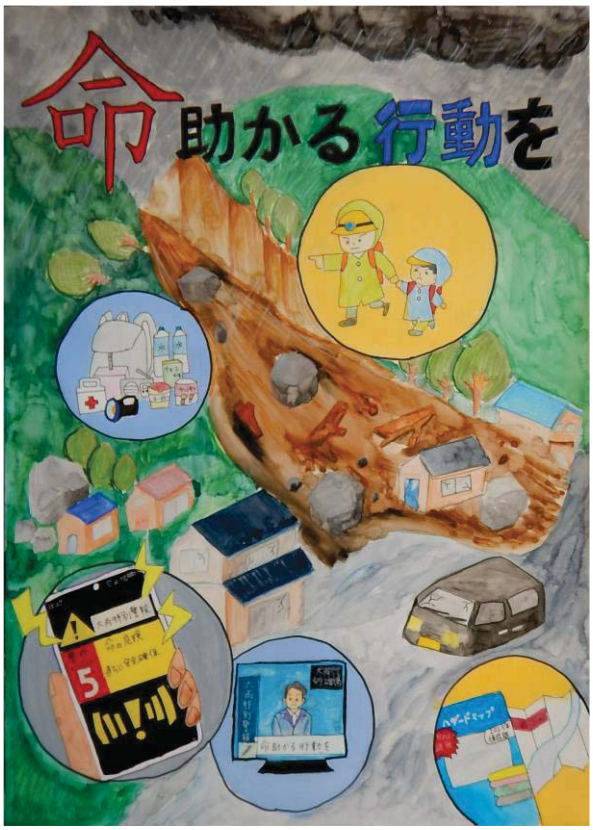
最優秀賞

小学生の部



菅沼　沙弥郎（すがぬま　さみろう）
上山市立南小学校 3年

中学生の部



神原　心音（かみはら　ここね）
山形大学附属中学校 3年

令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

（敬称略）

優秀賞

小学生の部



池田　瑛登（いけだ　えいと）
鶴岡市立朝暘第一小学校　３年



渡邉　陽天（わたなべ　ひだか）
中山町立長崎小学校　６年

中学生の部



鈴木　大貴（すずき　だいき）
山形大学附属中学校 1年



櫻井　千紗（さくらい　ちさ）
山形大学附属中学校 2年

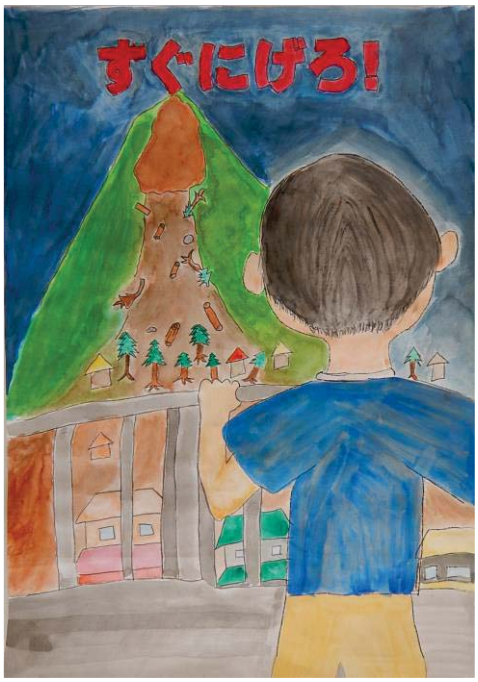
国土交通省 中央審査 優秀賞受賞

令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

（敬称略）

小学生の部

佳　作



柴田　環空（しばた　わく）
大蔵村立大蔵小学校 4年



早坂　櫻子（はやさか　さくらこ）
大蔵村立大蔵小学校 4年



三原　悠人（みはら　ゆうと）
大蔵村立大蔵小学校 5年

令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

（敬称略）

小学生の部

佳　作



金子　咲蘭（かねこ　さら）
上山市立南小学校 6年



小林　睦空（こばやし　りく）
大蔵村立大蔵小学校 6年



高橋　紅（たかはし　べに）
河北町立溝延小学校 6年



早坂　薫（はやさか　かおる）
大蔵村立大蔵小学校 6年

令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

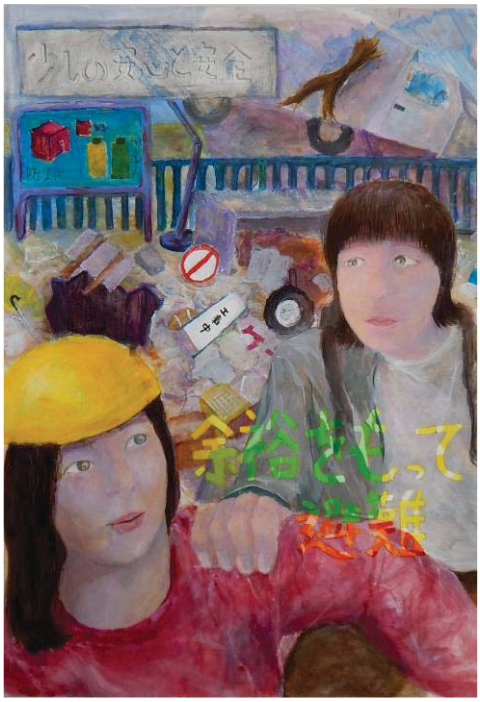
（敬称略）

佳　作

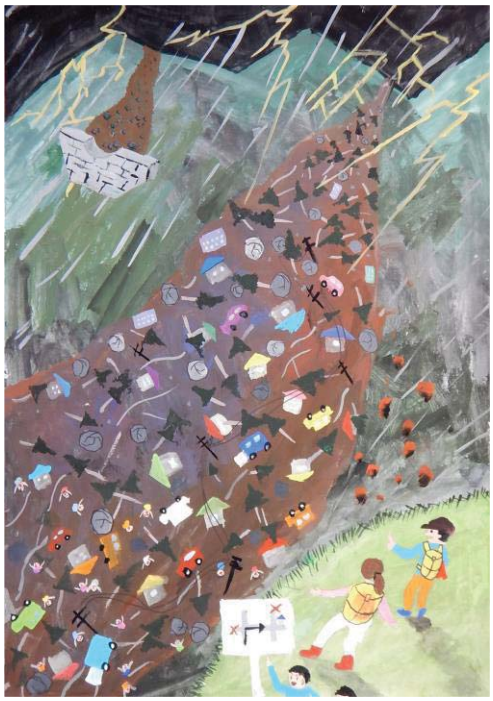
中学生の部



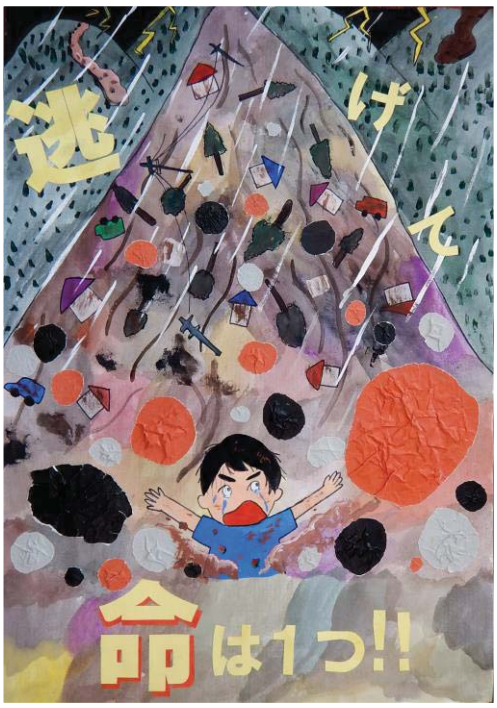
秋葉　理里奈（あきば　りりな）
山形大学附属中学校　1年



伊藤　珈乃（いとう　かの）
酒田市立第二中学校 1年



大黒　音翔（おおぐろ　とわ）
山形大学附属中学校 1年



佐藤　綾芽（さとう　あやめ）
山形大学附属中学校 1年

令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

（敬称略）

佳　作

中学生の部



平田　夏己（ひらた　なつき）
山形大学附属中学校 1年



青柳　伶（あおやぎ　れい）
新庄市立新庄中学校 3年



池上　亘（いけがみ　わたる）
山形大学附属中学校 3年

令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

（敬称略）

作文部門

最優秀賞　小学生の部

大沼　希依（おおぬま　のい）　最上町立大堀小学校　６年

①



土砂災害が起きる理由

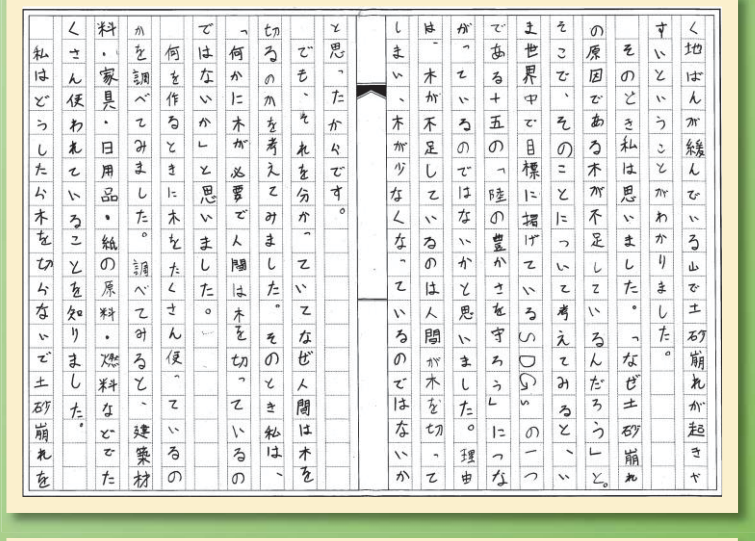
最上町立大堀小学校　六年　大沼　希依

令和六年七月二十三日から二十六日に山形県で大雨による大きな災害が起きました。そのとき、近くの山で土砂崩れが起きてしまいました。私はそのとき、雨が降るから土砂崩れが起きるのかなと思いました。そこで私は土砂崩れの起きる理由を調べてみることにしました。

最初に調べたのは起きる仕組みです。私は雨が降ることによって土が柔らかくなるから土砂崩れが起きるのではないかと思いました。調べてみると、「大雨などが原因で山や谷の土・石・砂などが崩れ、水と混ざってどろどろになり、一気に流れ出てくる現象」と出てきました。私はこのことを読んで、雨だけじゃなくて、山などの状態も原因だということが分かりました。

次に調べたのは、どのような山で土砂崩れが起きるのかです。調べてみると、木が少な

②



く地ばんが緩んでいる山で土砂崩れが起きやすいということがわかりました。

そのとき私は思いました。「なぜ土砂崩れの原因である木が不足しているんだろう」と。そこで、そのことについて考えてみると、いま世界中で目標に掲げている SDGs の一つである十五の「陸の豊かさを守ろう」につながっているのではないかと思いました。理由は、木が不足しているのは人間が木を切ってしまい、木が少なくなっているのではないかと思ったからです。

でも、それを分かっていてなぜ人間は木を切るのかを考えてみました。そのとき私は、「何かに木が必要で人間は木を切っているのではないか」と思いました。

何を作るときに木をたくさん使っているのかを調べてみました。調べてみると、建築材料・家具・日用品・紙の原料・燃料などでたくさん使われていることを知りました。

私はどうしたら木を切らないで土砂崩れを

③



防げるのかを調べてみました。調べてみると、森林の保全と適切な管理、そして必要に応じて土砂災害対策のし設を設置することが重要と出てきました。でも、すぐできるかというと難しいので、私たちがすぐできることを考えてみました。

考えてみると、森林認証マーク（FSC認証マーク）がついている商品を買うことや、日常生活で紙の使用量を減らしたり、再生紙を使うことが大切だと思いました。私はこの文章をたくさんの人に読んで知ってもらいたいです。

土砂崩れを防ぐ目的もありますが、SDGsのことも考えて、これからの生活を過ごしていきたいと思いました。学校の友達や家族にも行動を起こしてもらい、社会全体にもこの問題を深刻に考えてほしいです。

令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

（敬称略）

小学生の部

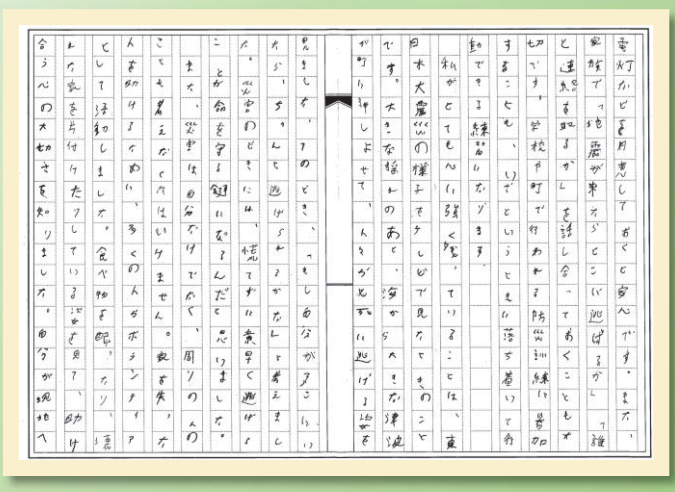
優秀賞

菅　空蘭（かん　くら）　最上町立大堀小学校　６年

①



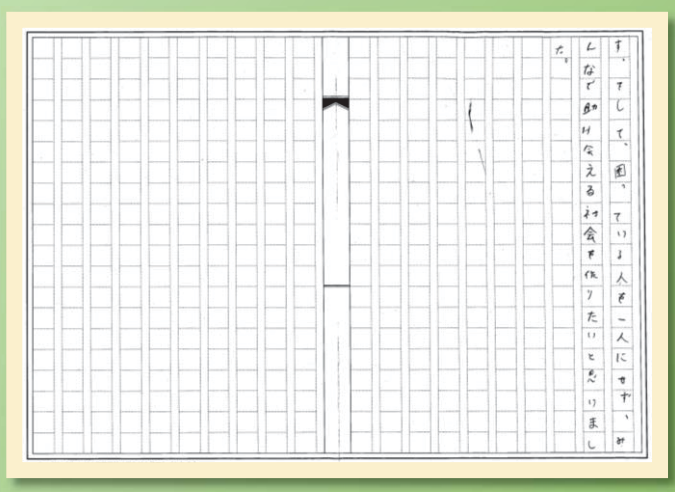
②



③



④



令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

（敬称略）

小学生の部

優秀賞

菅　心陽（かん　こはる）　最上町立大堀小学校 ６年

①



土砂災害の危険

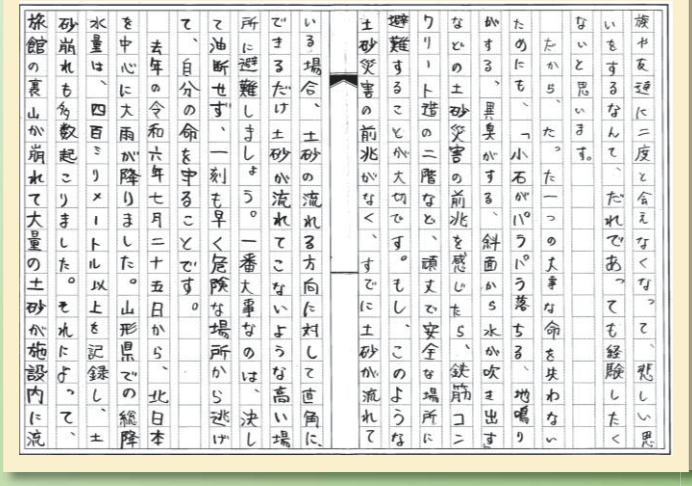
最上町立大堀小学校　六年　菅　心陽

がけ崩れでは、急激かつ予測困難なタイミングで発生し、避難する時間を与えないことがあったり、崩落した土砂の破壊力が大きいので、建物や人を一瞬で押しつぶしてしまう場合があるそうです。

地すべりで死者や負傷者が出る原因は、地すべりは通常ゆっくりとした速さで進行しますが、大規模な地すべりや、地震などの影響で急激に発生する場合、土砂の移動する速さが速くなり、逃げ遅れてしまう人が出てしまうからです。

お金などは一度失っても、あきらめずに一生懸命に働けば、また前と同じように手に入れることができます。けれども、人の命は違います。失ってしまったら、どれだけ働いても、だれかに願っても、もう手に入れることはできないし、いつもの生活に戻ることもできません。それに、亡くなってしまって、家

②



族や友達に二度と会えなくなって、悲しい思いをするなんて、だれであっても経験したくないと思います。

たから、たった一つの大きな命を失わないためにも、一小石がパラパラ落ちる、地鳴りがする、異臭がする、斜面から水が吹き出すなどの土砂災害の前兆を感じたら、鉄筋コンクリート造の二階なら、頑丈で安全な場所に避難することが大切です。もし、このような土砂災害の前兆がなく、すでに土砂が流れている場合、土砂の流れる方向に対して直角にできるだけ土砂が流れてこないような高い場所に避難しましょう。一番大事なのは、決して油断せず、一刻も早く危険な場所から逃げて、自分の命を守ることです。

去年の令和六年七月二十五日から、北日本を中心に大雨が降りました。山形県での総降水量は、四百ミリメートル以上を記録し、土砂崩れも多数起こりました。それによって、旅館の裏山が崩れて大量の土砂が施設内に流

③

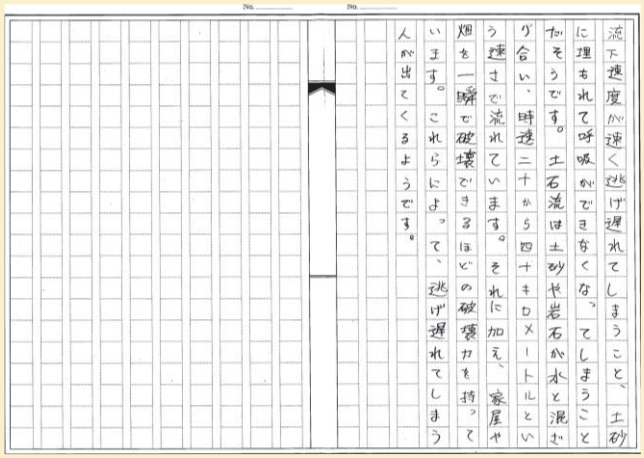


れ込んだりして、瀬見温泉の営業に支障が出たりもしました。最上町の被害額は見つかりませんでしたが、最上郡での総合被害額は、なんと千百十六億円にのぼるそうです。テレビで見る土砂災害で避難した方たちは、ほぼ全員が「怖い」とおっていました。私はテレビを見て、「なんとかしてあげたい、怖い思いをする人を減らせるようにしたい」と思いました。

だから、土砂災害での犠牲者や負傷者をゼロにするための実現させるためにも、もっと調べてみました。平成三十年七月豪雨では、河川の氾濫、がけ崩れなどが発生しました。それによって、死者二百二十四名、行方不明者八名、負傷者四百五十九名という大きな被害が出たそうです。

私はここで、「なぜ、土石流、がけ崩れ、地すべりによって死者や負傷者、行方不明者が出てしまうのだろうか」と思いました。調べてみると、土石流で死者が出る主な理由は、

④



流下速度が速く逃げ遅れてしまうこと、土砂に埋もれて呼吸ができなくなってしまうことだそうです。土石流は土砂や岩石が水と混ざり合い、時速二十から四十キロメートルという速さで流れています。それに加え、家屋や畑を一瞬で破壊できるほどの破壊力を持っています。これらによって、逃げ遅れてしまう人が出てくるようです。

令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

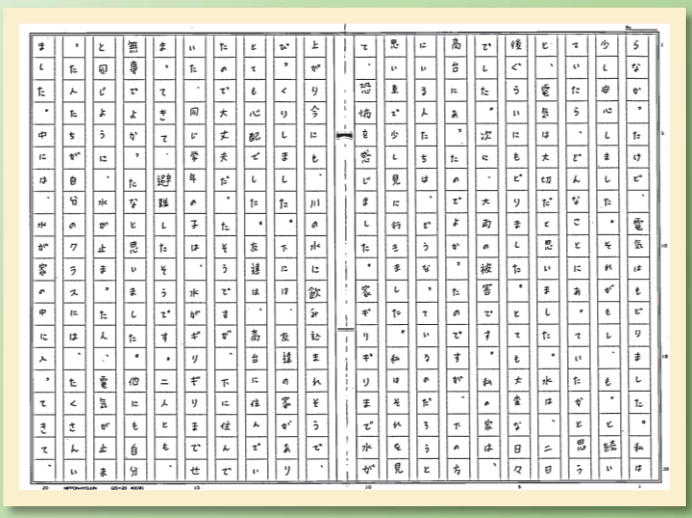
（敬称略）

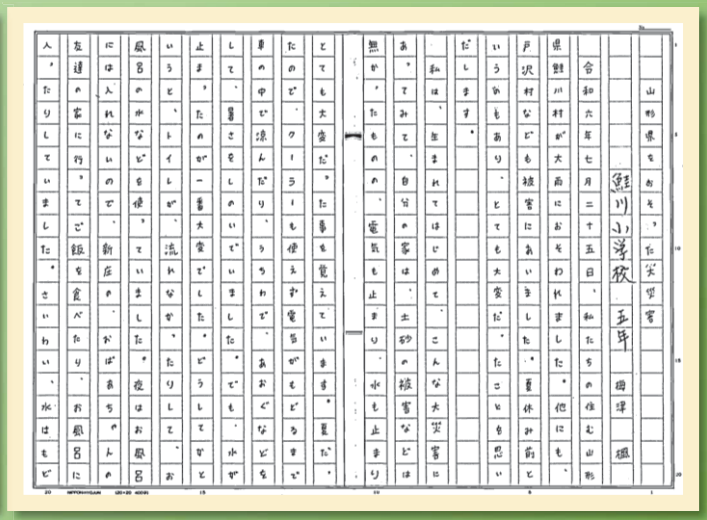
小学生の部

佳　作

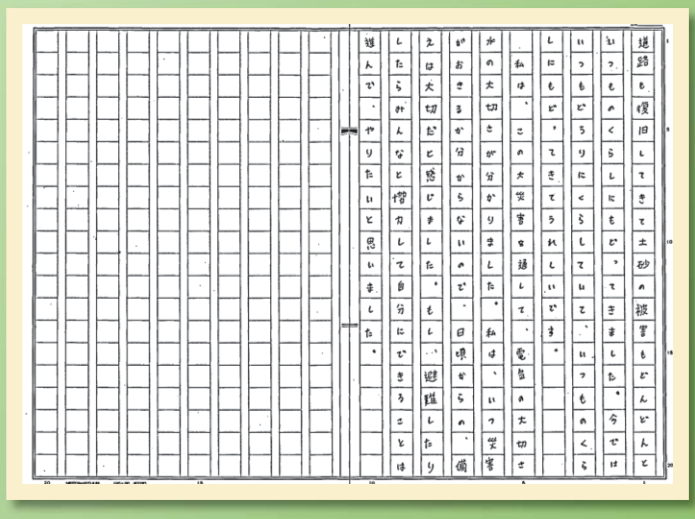
梅津　楓（うめつ　かえで）　鮭川村立鮭川小学校 ５年

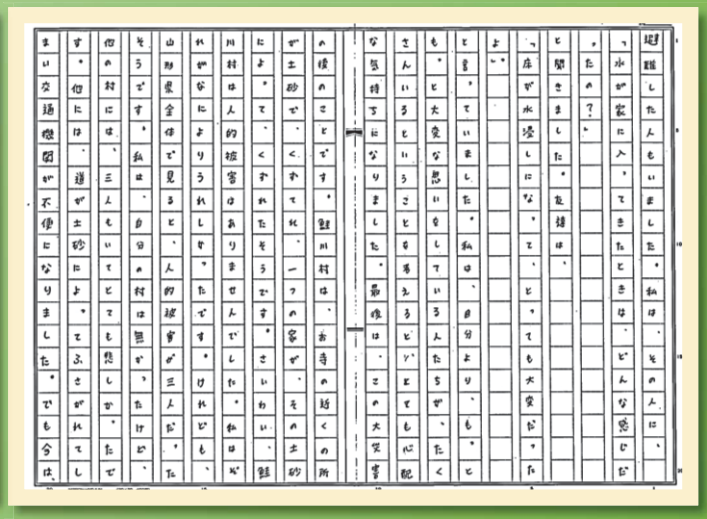
②





④





令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

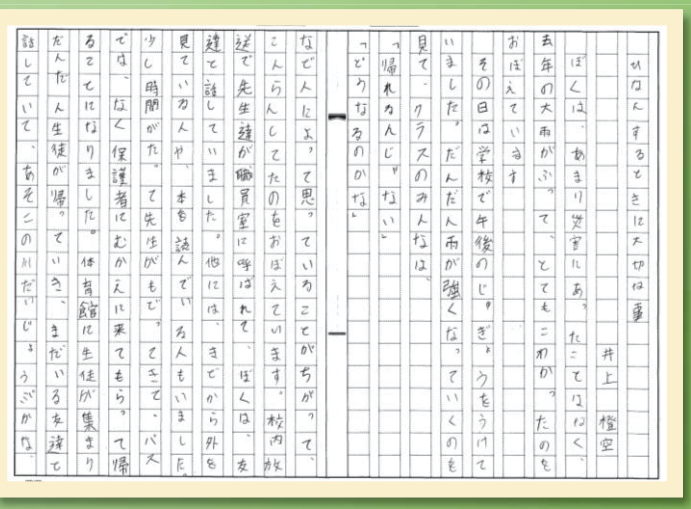
（敬称略）

小学生の部

佳　作

井上　橙空（いのうえ　だいあ）　鮭川村立鮭川小学校 ６年

①

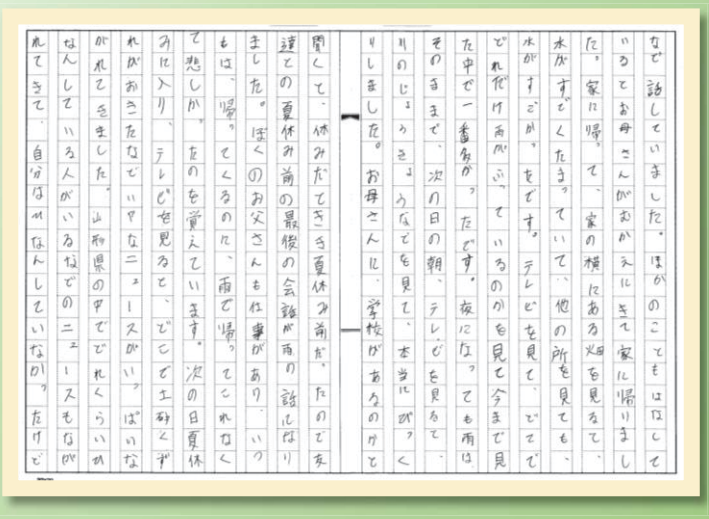


いのちなんするときには大切な事

井上　橙空

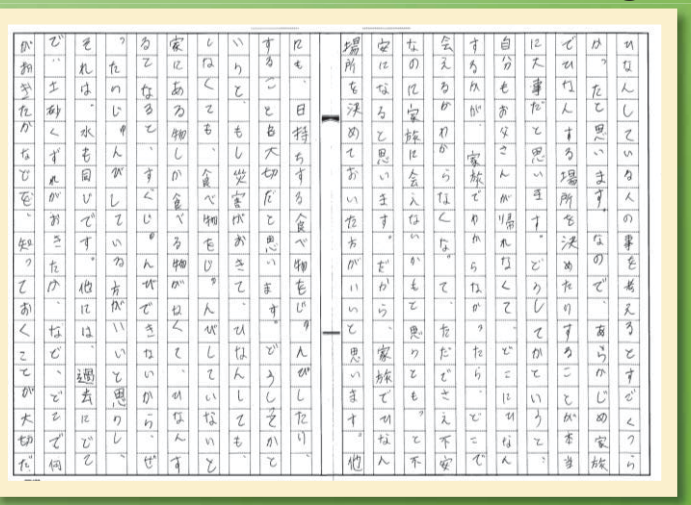
ぼくは、あまり災害にあったことはないが、おぼえている事は、その日は学校で午後のじゅぎょうをうけていました。だんだん雨が強くなっていくのをみて、クラスのみんなは、「帰れるかんじゃない」「どうなるのかな」などと人によって思っていることがちがって、こんらんしてたのをおぼえています。校内放送で先生達が職員室に呼ばれて、ぼくは、友達と話していました。他には、きてから外を見ている人や、本を読んでいる人もいました。少し時間がたって先生がもどってきて、バスでなく保護者にむかえに来てもらうと下校になりました。体育館に生徒が集まりたんたん生徒が帰っていき、まだいる友達もその中で一番多かったです。夜になっても雨はそのままで、次の日の朝、テレビを見ると、川のじょうさいりょうなどを見て、本当にびっくりしました。お母さんに、学校があるのかをみに入り、テレビも見ると、ぜんぜん土砂くずれがおきたなどいうニュースがいっぱいながれてきて、自分もなんしていないなかったけど

②



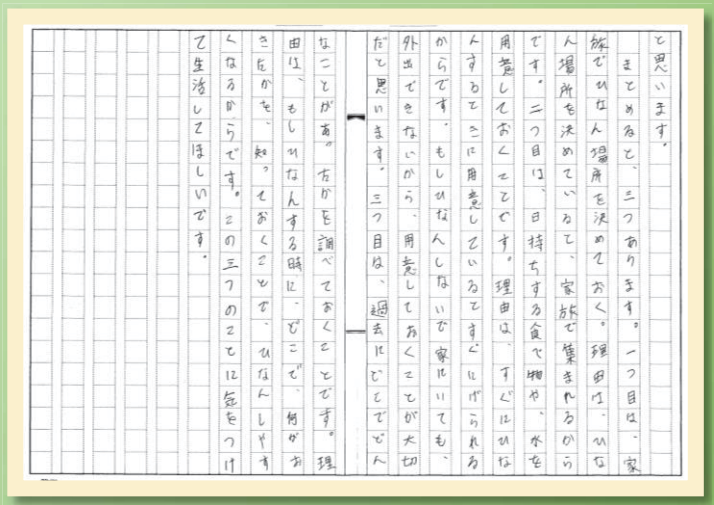
なで話していました。ほかのことではなしていると、お母さんがおかえりにきて家に帰りました。家に帰ると、家の横にある畑を見ると、水がすごくたまっていて、他の所を見ても、水がすごかったです。テレビを見ると、どこでもだれだけ雨がふっているのかを見て今まで見聞くと、休みだてきき夏休み前が、たので友達との夏休み前の最後の会話が多く話しました。ぼくのお父さんも仕事があり、いつもは、帰ってくるのに、雨で帰ってこれなくて悲しかったのを覚えています。次の日夏休

③



いのちなんしているな人の事を考えるとすぐにうかぶたくさんの事があります。なので、まずはじめの家族に大事だと思います。どうしてかというと、自分もおなさんが帰れなくてどこにもいれないとなったら、どこでも会えるかわからなくて、ただただ不安になってしまうからです。家族でいるとき、安心になると思います。だから、家族でいれない場所を決めておいたほうがいいと思います。他にも、日持ちする食べ物をじゅんびしたり、いりょうセットをじゅんびしていないとなくても、食べ物をじゅんびしていないと家にある物しか食べる物がなくて、いのちなんするとなると、すぐじゅんびできないからです。だからじゅんびしていたほうがいいと思うし、それは、水も同じです。他には、過去にびでお

④



と思います。

まとめると、二つあります。一つ目は、家族でいる人場所を決めておく。理由は、いる人場所を決めていると、家族で集まれるからです。二つ目は、日持ちする食べ物や、水を用意しておくことです。理由は、すぐにいるものを用意しておくとすぐにもどれるからです。もしものしないで家にいても、外出できないから、用意しておくことが大切だと思います。三つ目は、過去にびでんなことがあった方がを調べておくことです。理由は、もしものなんする時に、びこで、何がおきたかも、知っておくことで、ひなんしやすくなるからです。この三つのことに気をつけて生活してほしいです。

令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

（敬称略）

中学生の部

最優秀賞

森川　遥登（もりかわ　はると）　山形県立致道館中学校　2年

①



大沢地区から学んだこと

山形県立致道館中学校

二年　森川　遥登

今年の夏、国道三百四十四号鳥海沿いの大沢地区に行った。山の斜面にはところどころ崩れた痕があり、土砂が積もった場所、傾いたり壊れた家、片側通行、通行止め、一年経っても完全に復興しないその光景は、昨年七月の豪雨災害の深刻さを物語っていた。

私が中学一年生だった昨年のゴールデンウイークのときも、大沢地区を訪れていた。小学生の頃、友達に五台沼というところに連れて行ってもらったとき、大沢地区を通った。とても自然が豊かだが、夏休みが始まりすぐ、豪雨災害があったりもして気になった。とても自然が豊かなことを思いおこし、またたってみたいと思っていたのだ。北青沢の駐車帯では、綺麗なハンミョウを捕まえた。山に「大」という字が見えた。とても自然が豊かで素晴らしい場所だと思った。

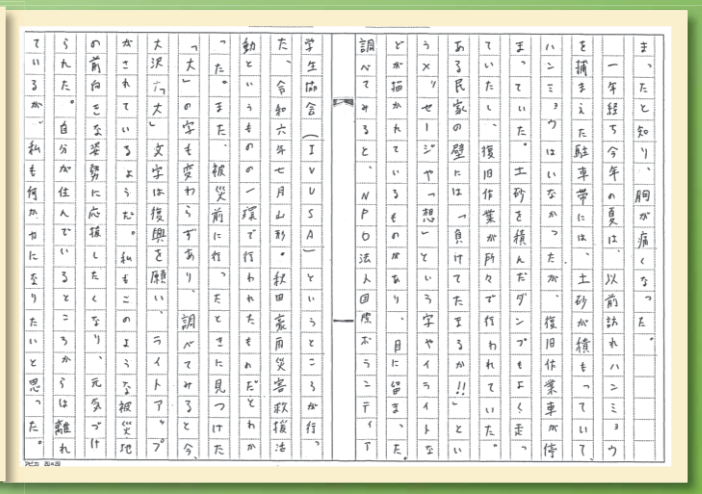
②



った。私はそのとき学校で部活をしていた。科学の甲子園ジュニアの一次予選に向けて通宵を開いていたが、窓からは大雨が降っているのが見え、災害情報アラートも鳴っていて、通学路どころではないほどだった。私は鶴岡にある学校に酒田から通っている。私の住んでいる酒田は大丈夫だろうか、新井田川や最上川は氾濫していないだろうか、不安があった。

そして、酒田では自宅の前の道路が水に浸かっていて、トイレもうまく流れなくなっていた。植木鉢や段差ブロックなどが浸水したりしていて驚いた。私の家は大丈夫だったのではないかと心配になった。二〇一八年の大沢地区の北青沢は土砂や流木に覆われて、家が崩れていたり、生活が困難になった現地の人の様子を見た。私は北青沢を含む大沢地区は前に訪れたことがあるところだと気付き、こんなにも変わり、た風景に今、てし

③

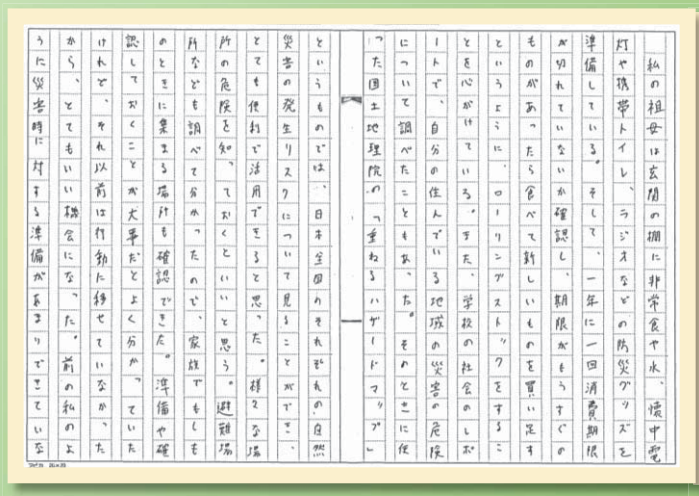


ま、たと知り、胸が痛くなった。

一年経ち今年の夏は、以前訪れハンミョウを捕まえた駐車帯には、土砂が積もっていて、ハンミョウはいなかったが、復旧作業車が所々で行われていた。土砂を積んだダンプもよく走っていた。復旧作業が所々で行われている民家の壁には「負けてたまるか!!」というメッセージや「想い」という字やイラストなどが描かれているものがあり、目に留まった。

調べてみると、NPO法人田麦ボランティア

④



私の祖母は玄関の棚に非常食や水、懐中電灯や携帯トイレ、ラジオなどの防災グッズを準備している。そして、一年に一回消費期限が切れていないか確認し、期限がもうすぐのものがあったら食べて新しいものを買い足すというように、ローリングストックをすることを心がけている。また、学校の社会のしおりで、自分の住んでいる地域の災害の危険について調べたこともあった。それをきっかけに住んでいる地域の災害の危険性などを調べて分かったので、家族でもこのときに集まる場所も確認できた。準備や確認しておくことが大事だとよく分かっていたけれど、それ以前は行動に移せていなかった。前の私のように災害時に対する準備が足りなくて

大沢の「大」文字は復興を願い、ライトアップされたと聞いた。また、被災前に行ったときに見つけた「大」の字も変わり果て、調べてみると今、大沢の「大」文字は復興を願い、ライトアップされたと聞いた。また、被災前に行ったときに見つけた「大」の字も変わり果て、調べてみると今、大沢の「大」文字は復興を願い、ライトアップされたと聞いた。

学生協会（IVUSA）というところが行った、令和六年七月山形・秋田豪雨災害救援活動というものの一環で行われたものだとわかった。

⑤



私はこのような豪雨災害や被災地を訪れた体験を通して、土砂災害に強い地域にしていくため、砂防堰堤を設置したり、崩れやすい斜面を保護したりすることを進め、それらの防災・減災の取り組みが、自然環境や景観や人々の暮らしと調和するようにエ夫された、まちづくりが進むといいと思った。私は自然豊かな大沢地区が好きだから、これからもそれが残っていってほしい。酒田や鶴岡は、今までこのような災害はあまり多くなかったみたいだが、最近は気候変動などにより、この

いんも周りたいるかもしれないから、個人でできる取り組みを近所に呼びかけたりすることもできると思った。

ような災害が頻繁に起こりやすくなってきている。災害はいつ起こるか分からないから、事前に防災グッズを準備したり、避難場所を確認するなど、災害がいつ起きても対応できるように、自分ができることからしていきたい。

令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

（敬称略）

中学生の部

優秀賞

土屋　心鈴（つちや　みれい）　山辺町立山辺中学校　１年

①



土砂災害防止について

山辺町立山辺中学校　一年三組　土屋　心鈴

土砂災害から身を守るために私たちが自分でできることは日頃から備えることがとても重要だそうです。

まずなぜ日頃から備えることが大切なのかと言うと令和六年には一四三三件の土砂災害が発生しており、けがをしたり最悪亡くなる可能性があるからだ。土砂災害から自分の身を守るために備えることが大切と言うことがとても大事なのだそうです。それでも逃げおくれてしまった場合に備え、一時的にでも逃げられる場を確認して避難している時も安全に行けるように備えておくこともとても良いそうです。または、避難場所が遠い場合は、少しでもたえられるように地域の安全そうなところに目をつけておくことも大切だそうです。

私は、土砂災害を経験したことがなく、テレビでしか見たことがないので、土砂災害を体験していないからかあまり怖いと思ったことがないのでもしも土砂災害がおきたら私はどのようにするか考えてみました。もしも私の住んでいる近くに大雨や地震がきたらいつ警報が来てもいいように防災グッズなどの、しっかり用意をして、もし警報やサイレンがなったらあせらずもと用意していた防災グッズを持って大人の人たちと行動したいと思いました。もし仮に本当になったら不安だし、家にいられなくなったりしたらつらいと思うなと感じました。他にも私は土砂災

山辺中学校

②



山辺中学校

す。そして備えるにはどうしたらいいか調べたところ、自分の住んでいる地域のマップを確認して避難場所を決めておくことだそうです。他には、飲料水、食料品などやモバイルや衣類、マスク、ヘルメット、救急品などの日用品や、懐中電灯、予備の電灯、スマホの充電器なども備えていると良いそうです。

③



山辺中学校

害の被害にあったことはないけど、逆に捉えて考えてみると令和六年度の土砂災害件数を見ると一四三件とても多くそれにともなって被害者も多いと考えると今まで生きてきて土砂災害被害がなかったのはすごいなと思いました。なぜなら約一四〇〇件もの土砂災害があれば一年で、約一日に三、四回くらいおきているということになります。土砂災害は、回数が多くて危険ということが分かりました。土砂災害の被害を受けた人がいっぱいいることに私はおどろきました。この土砂災害でたくさんなる人を減らすためにはちゃんと防災グッズなどもし、かり用意してすぐ逃げられるように近くに置いたり、避難訓練をしておいた方がいいと改めて感じました。それ以外にも家がなくなるとこれから先の生活にも支障がでたり、不安になることも私は多いと思いました。一人一人が土砂災害を防止するためには一人でも多くの人が支援する呼びかけやボランティアなどの支えがあると被害にあ

④

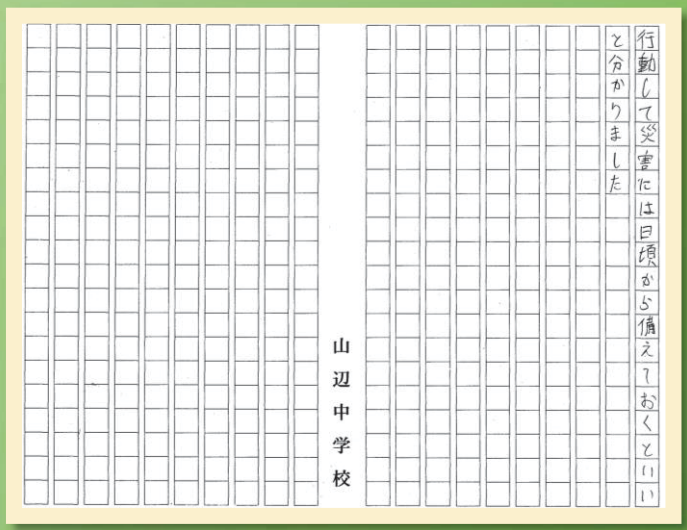


山辺中学校

った人も少しは安心できる人じゃないかなと思いました。

私は今まで避難訓練って本当に意味あるのかなと思っていました。でも今後私はちゃんと防災グッズなどもし、かり用意してすぐ逃げられるように近くに置いたり、避難訓練をしておいた方がいいと改めて感じました。それ以外にも家がなくなるとこれから先の生活にも支障がでたり、不安になることも私は多いと思いました。一人一人が土砂災害を防止するためには一人でも多くの人が支援する呼びかけやボランティアなどの支えがあると被害にあわ、ておくともし家族がいないときなどには周りの近くの人と行動することができ、安全面も一人より高くなると思いました。なので地域での避難訓練の取りくみを追加しても良いのではないかと思いました。その他にも一人一人できることはたくさんあるので、私もやれることを見つけて取り組んだり、土砂災害などに備えて定期的に確認したり、もしも土砂災害になって避難することになっても、パニックになるかもしれないけど、冷静になっていると思うなと感じました。他にも私は土砂災

⑤



山辺中学校

行動して災害には日頃から備えておくといいと分かりました

令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

（敬称略）

中学生の部

優秀賞

渡邉　桜叶音（わたなべ　おとね）　山辺町立山辺中学校　２年

①



私からの手助け

山辺中学校　二年　渡邉　桜叶音

皆さんの代表的な災害の例は何ですか。私が頭に浮かぶのは地震です。日本は山も多く、降水量も多いため、「土砂災害」が多く発生する時があります。その「土砂災害」は命にかかわるほど危ない災害の一つです。そんな被害を少しでも減らすために私ができることを考えてみました。

「土砂災害」で起きる例は主に三つあります。一つ目は「土石流」です。大雨や集中豪雨によって、山腹や渓流に堆積した土砂や岩石、流木などが水と一緒になって一気に流れる現象のことです。これによる被害は、速く、人命を奪う危険性が高いです。

二つ目は「がけ崩れ」です。大雨や地震によって斜面が突然崩れ落ちる現象のことです。これによる被害は、土砂が押し寄せ、家屋の倒壊や道路のすい断を引き起こします。

三つ目は「地すべり」です。地盤が地下水

②



の影響などでゆっくりと動き出す現象のことです。これによる被害は川がせき止められたりすると、上流で氾濫や浸水が発生する可能性があります。実はその他にも被害があり、ライフラインがすい断されたり、土砂が河川をせき止め、二次的な洪水を引き起こす可能性があったりするなど、どれもとても恐ろしいことです。

このようなことから自分や家族を守るために、私はまず自分の住んでいる町の危険な場所を把握して、それをみんなで共有できたらいいなと思います。そうすることで、まとめてみんなの命が助かるかもしれません。日頃から、天気などを見て、その日の天気によって、対策すべきことについて目を向けて、防災意識を高めていきたいです。

私の住んでいる地域は、山が多く、いつ土砂災害が来てもおかしくありません。最近は雨が多いです。これは「線状降水帯」といい、同じ場所に長期間雨が降り続く現象のことで

③



す。この状況が続くことで、土砂がゆるみ、崩れてしまうことがあるのです。私はテレビで何度か土砂災害の映像を見たことがあります。見る度に恐怖が出てくるし、「自分の町がもしあんな風になったらやだなと思います。そして誰かの命が奪われたなどと聞くとも、と心が痛くなります。私は体験したことがないから、現実では見たことがないけれど、土砂災害は、人の命が奪われるほどものすごく大きな被害を出す自然現象なのだなと思いました。自然をあやつれる人がいたらいいなと思います。でもやっぱり、日頃からこの生活はきたり前ではないんだと油断は禁物だと思いました。今はスマートフォンという便利な機械があることに感謝して、情報をしっかり取ってもっと気をつけることを確かめて、学びたいです。

私は今回この作文を書いてみて、自分かどうすべきか、この災害の恐ろしさを知って、どんな被害があるのかなどを確かめることが

④



できました。「土砂災害」についても、と知れたし、どんな対策をすべきかを確認できました。

まず私は、被害があった場所の片づけが大変そうすぎるなと思いました。日本は災害が多いけど、日頃からこうやって気をつけれは少しでも被害を減らせるのではないかと思います。「油断」は危ないけど、いつ来るかわからない災害から日本の人は今まで向き合って、そういう歴史があるからこそ、学んでいることがすごいと思いました。私も実際にあった被害を知ったことで、どう気をつけたいかを考えたい気持ちがでてきたし、あまり日頃こういうことを考えないから、いい学びになりました。

今回書いたこの作文をいつも思い出して、自分の命を精一杯守れるようにがんばっていきたいなと思いました。またそういう時がきても、まず落ちついて行動して、冷静に取り組み、周りの人達とも協力したいです。

令和７年度
土砂災害防止に関する絵画・作文　入賞者一覧

【絵画の部】（小学生）　応募数：22作品

賞	作品題名	学校名	学年	氏名	ふりがな	備考
最優秀賞	まよわずにげてはやめのひなん	上山市立南小学校	3	菅沼　沙弥郎	すがぬま　さみろう	中央審査推薦
優秀賞	出来ることからやっていこう	鶴岡市立朝暘第一小学校	3	池田　瑛登	いけだ　えいと	
	にげるをゆうせんに	中山町立長崎小学校	6	渡邉　陽天	わたなべ　ひだか	
佳作	すぐにげろ！	大蔵村立大蔵小学校	4	柴田　環空	しばた　わく	
	いつでも準備	大蔵村立大蔵小学校	4	早坂　櫻子	はやさか　さくらこ	
	村を守る砂防ダム	大蔵村立大蔵小学校	5	三原　悠人	みはら　ゆうと	
	近づくな！氾濫した川見に行くな	上山市立南小学校	6	金子　咲蘭	かねこ　さら	
	1秒でも早く逃げて！	大蔵村立大蔵小学校	6	小林　睦空	こばやし　りく	
	天候に注意！！	河北町立溝延小学校	6	高橋　紅	たかはし　べに	
	危険といつも隣あわせ	大蔵村立大蔵小学校	6	早坂　薫	はやさか　かおる	

【絵画の部】（中学生）　応募数：76作品

賞	作品題名	学校名	学年	氏名	ふりがな	備考
最優秀賞	命助かる行動を	山形大学附属中学校	3	神原　心音	かみはら　ここね	中央審査推薦
優秀賞	災害から命を守る行動を	山形大学附属中学校	1	鈴木　大貴	すずき　だいき	中央審査推薦
	早めの備えで命を守る	山形大学附属中学校	2	櫻井　千紗	さくらい　ちさ	中央審査推薦
佳作	事前準備で即ひなん	山形大学附属中学校	1	秋葉　理里奈	あきば　りりな	
	少しの安心と安全	酒田市立第二中学校	1	伊藤　珈乃	いとう　かの	
	のみこまれるぞ！	山形大学附属中学校	1	大黒　音翔	おおぐろ　とわ	
	逃げて！命は1つ！！	山形大学附属中学校	1	佐藤　綾芽	さとう　あやめ	
	その通知、スルーしないで！！	山形大学附属中学校	1	平田　夏己	ひらた　なつき	
	危険はすぐそこに	新庄市立新庄中学校	3	青柳　伶	あおやぎ　れい	
	みんなを守る砂防ダム	山形大学附属中学校	3	池上　亘	いけがみ　わたる	

【作文の部】（小学生）　応募数：９作品

賞	作品題名	学校名	学年	氏名	ふりがな	備考
最優秀賞	土砂災害が起きる理由	最上町立大堀小学校	6	大沼　希依	おおぬま　のい	中央審査推薦
優秀賞	災害と助け合い	最上町立大堀小学校	6	菅　空蘭	かん　くら	
	土砂災害の危険	最上町立大堀小学校	6	菅　心陽	かん　こはる	
佳作	山形県をおそった大災害	鮭川村立鮭川小学校	5	梅津　楓	うめつ　かえで	
	ひなんする時に大切な事	鮭川村立鮭川小学校	6	井上　橙空	いのうえ　だいあ	

【作文の部】（中学生）　応募数：３作品

賞	作品題名	学校名	学年	氏名	ふりがな	備考
最優秀賞	大沢地区から学んだこと	山形県立致道館中学校	2	森川　遥登	もりかわ　はると	中央審査推薦
優秀賞	土砂災害防止について	山辺町立山辺中学校	1	土屋　心鈴	つちや　みれい	
	私からの手助け	山辺町立山辺中学校	2	渡邉　桜叶音	わたなべ　おとね	

令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品

審査状況







応募状況

＜ご応募いただいた学校＞　（順不同）

小学校
上山市立南小学校
寒河江市立柴橋小学校
河北町立溝延小学校
中山町立長崎小学校
鮭川村立鮭川小学校
最上町立大堀小学校
大蔵村立大蔵小学校
鶴岡市立朝暘第一小学校

中学校	
山形大学附属中学校	寒河江市立陵南中学校
山形市立第二中学校	新庄市立新庄中学校
山形市立蔵王第二中学校	高畠町立高畠中学校
上山市立北中学校	長井市立長井南中学校
上山市立宮川中学校	山形県立致道館中学校
山辺町立山辺中学校	酒田市立第二中学校

	応募学校数	絵画作品数	作文作品数
小学校	8	22	9
中学校	12	76	3
計	20	98	12

＊たくさんのご応募ありがとうございました＊

令和７年度　土砂災害防止に関する絵画・作文入賞作品集

山形県 県土整備部 砂防・災害対策課　砂防企画担当
〒990-8570　山形県山形市松波二丁目8番1号　電話：023-630-2635　FAX：023-625-3866